

福島第一3号機のバックチェックの中間評価に際し、小林耐震室長から原子力安全委員会事務局長谷川副管理官に送付した資料

※ バックチェックの中間評価に際し、想定Q&Aの案について、送付したもの。なお、送付メールについては、現時点では確認できていない。

1 F 3 耐震バックチェックの中間評価に係る想定Q & A
(安全委員会側)

平成 22 年 7 月 7 日

Q 1. 安全委員会側では評価しないのか。

A 1. 保安院と同様に、代表号機以外については、最終報告で評価を行うことを基本としている。

Q 2. 保安院では評価しているではないか。

A 2. 保安院では特例で評価したと聞いている。

Q 3. 安全委員会でも特例で評価すべきではないか。

A 3. 地元からの要望がない。

Q 4. 安全委員会の役割を放棄しているのではないか。

A 4.。保安院から報告が無いので、安全委員会では評価できない。

(これを踏まえた保安院側Q & A)

Q 1. 安全委員会は、保安院から報告がないから評価できないと言っているが。

A 1.。